



発行日：令和5年6月16日
 発行者：さはら小学校長 相田 清美
 さはら小学校だより 第5号
 TEL 0295-78-0009

【教育普及アートバス事業】

5月25日(木)に北茨城市の五浦美術館に行き、学芸員さんのお話を聞きながら絵画を鑑賞したり、一人一人が缶バッジを作成したりする機会をいただきました。初めて入る美術館・初めて見る絵画に真剣な眼差しで見入っていました。色の付け方や絵画の見方等、学校では学べない様々なことを学んだようです。小規模校だからこそ全校児童全員が体験できた行事でした。午後からは日立かみね動物園で動物を見学し、充実した一日となりました。



【全校茶摘み】

5月26日(金)に「いきいきサロン」や保護者の方をお招きして茶摘みをしました。まずは3・4年生からお茶の種類や歴史、お茶の摘み方など自分たちで調べたことの発表があり、その後みなでお茶を摘みました。初めての1年生もザルを片手に「一芯三葉だからこの辺を取るんだよ」と自信たっぷり。保護者の中には「初めての参加で子どもに取り方を教わっています」と笑顔を見せてくれる方もいました。いきいきサロンの方の中には、児童のおじいさん、曾おじいさんもいらしてくださり、お年寄りの方々の手際のよさに感心していました。今年の収穫量は手摘みと機械を合わせて約50kgになりました。藤屋さんのご協力により「奥久慈茶の里工房」で製茶を、「山谷園」さんのご協力により一袋ずつ袋詰めを、PTA副会長の我妻さんに刈り取りの機械をお借りしPTA会長鈴木さんと機械刈りを、いきいきサロンの方により傾斜がきつい場所の茶摘みを、たくさんの方のご協力をいただきました。児童・教職員一同、感謝の気持ちを忘れず「夢道場」の活動を通して、さはらの特長や良さを様々な形で広めて参ります。



※5月27日(土)茨城新聞に掲載されました。

せっせと茶摘み
 大子の小学校で

大子町立さはら小学校（児童数20人）で26日、恒例の茶摘みが行われた。

「奥久慈茶」の産地・大子町にある同小で約70年前から行われている行事で、この日は児童16人が参加。小学校の南側にある茶畑で、地域の高齢者らの指導を受けながら、茶の品種「やぶきた」の収穫作業が行われた。

児童らは手摘みなどで茶葉約50kgを収穫。4年生の小泉

惺成君(9)は「茶葉は固いし、量が多かったので摘むのが大変だったけど、おいしいお茶が飲めるので最高」と笑顔を見せていた。

同小では、約10年前から全校児童からなる「さはらファミリー会社」という組織を運営し、近くの農園で栽培した野菜や茶葉を児童らが販売するなどの活動をしている。

今回収穫された茶葉は製茶加工され、7月15日に「道の駅奥久慈だいが」(大子町)で販売される予定。児童らも今後、精製された茶葉を味わう煎茶道の体験をするという。

友人と協力しながら茶摘みに励む児童ら（26日、大子町で）